



夢をもち
いきいきと学ぶ子どもをはぐくむ
政令市新潟

NIIGATA

家庭学習のススメ

中学生向け

保護者の皆様へ

新潟市が目指す「自分の力に自信をもち、心豊かな子ども」を育てるには、学校での授業とともに、家庭での子どもの生活・家庭学習習慣の形成が重要です。

1,2年の時期は計画的・継続的な学びを進めること、3年の時期は自分の目標を明確にもたせることが大切です。

学校も家庭も、それぞれの役割を十分に理解しながら、子どものよりよい成長を願い、一緒に生活・家庭学習習慣の確立に努めましょう。

<家庭学習を支える4つのポイント>

- 勉強しやすい環境をつくる!
- 勉強している様子を見守る!
- 学校での様子に関心をもつ!
- 将来の夢や職業についての話をする!



22 04 03 04
笹野五郎



22 04 03 05
花野古町

新潟市教育委員会

平成27年4月発行

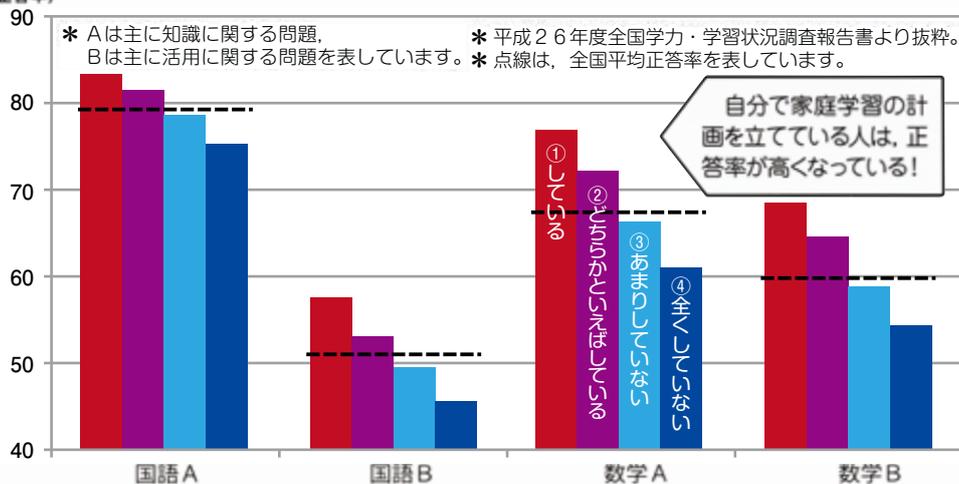
中学生のみんな! さあ、家庭学習を始めましょう!

家で、自分で計画を立てて学習をしていますか。

家庭学習って、本当に大切なのかなあ?



(正答率)



自分で家庭学習の計画を立てている人は、正答率が高くなっている!

右のグラフを見てごらん。自分で計画を立てて家庭学習をすることは、とても大切だよ。



生徒の皆さんへ

1年生は1日平均80分以上、2年生は100分以上、3年生は120分以上を目安に家庭学習を続けてみましょう。

1・2年生へ

- ① 「毎日、何をどれだけ学習する」「毎日、教科書(問題集)を何ページやる」など、目標を具体化しましょう。
- ② 学校の時間割に合わせ、予習や復習の計画を立てましょう。
- ③ 決まった場所で、決まった時間帯に、決まった教科を行う日課にしましょう。
- ④ 発想や考え方を書き残したり、知識を増やしたりするノートを作って学習しましょう。

3年生へ

- ① 得意な教科は、自分のペースで問題集を進めましょう。
- ② 苦手な教科は、分かるところまでさかのぼってやり直しましょう。
- ③ 時には、先生、友達、インターネットなどから、自分に合った学習方法の情報を得ましょう。
- ④ 発想や考え方を書き残したり、知識を増やしたりするノートを作って学習しましょう。

こんな学習をしてみましょう。

英語

(1) 単語の意味を辞書で調べる (予習【書く】)

教科書の本文を読んで、意味がわからない単語は、辞書を使って自分で調べてみましょう。単語の意味が複数ある場合は、教科書本文にどれが一番当てはまるか考えます。

(2) 声に出して読む (復習【(聞く)・読む・話す】)

授業中の先生の発音にしっかりと耳を傾け、正確に発音するように心掛けます。復習では、教科書をすらすら読めるまで何回も声に出して読んでみましょう。

(3) 授業の振り返りをする (復習【書く】)

- ① 学習した教科書基本本文の文法や表現のコツについて、大切なことを自分の言葉でまとめてみましょう。(例～することができる→ canを使う)
- ② 授業中に自分や友達が使った表現を思い出してノートに書いてみましょう。教科書のWord-Cornerの単語を使って、自分で考えたオリジナルな表現にも挑戦してみましょう。(例 I can play the piano, so I want to play it with my friends・・・)



社 会

(1)予習と復習のサイクルを回そう

- ①事前に教科書を読んで、学習内容を確認します。その時、重要語句にマーカー等でチェックをします。予習をすることで授業の見通しがもて、理解しやすくなります。興味や疑問がわいてくれば、もうしめたものです。
- ②復習はその日のうちに行います。授業で習ったところのワークや問題をノートに書いたり、地図帳や資料集で該当箇所を確認したりしてみましょう。復習をすることで理解が深まり、定着が図れます。

(2)学習方法例

教科書の索引で、「学べき言葉やことがら」の内容が自分で説明できるか確認してみましょう。



理 科

(1)教科書・ノートの見直しをする

教科書・ノートには、学習のポイントが満載です。授業があった日に、「教科書・ノートの読み返し」+「要点のまとめ」を行い、理科用語も確実に覚えましょう。

(2)実験のまとめをきちんと行う

授業で行った実験について、「どのような方法・手順で行うのか」「結果から何がいえるのか」を自分なりにまとめてみましょう。

「目的と方法」や「結果と考察」をそれぞれ関連付けることで、学習方法を一つのまとまりとして理解できます。

実験の手順のほか、器具の操作方法、試薬の性質、実験上の注意点なども大切なポイントです。結果をグラフ化するなどのデータ処理もできるようにしましょう。

国 語

(1)語句の読み方や意味を確かめる

教科書を読んで、読み方や意味の分からない言葉、あいまいな言葉が出てきたら、すぐに辞書で確かめてみましょう。たくさんあるときは、少しずつ計画的に調べてもよいでしょう。正しい言葉の意味が分かれば、文章の理解も進みます。

迷ったらすぐに辞書を引くことは、国語の力を付ける上でとても大切なことです。

(2)漢字を書いて覚える

漢字専用のノートを作り、毎日繰り返し練習してみましょう。最初は、どの漢字も同じように一行ずつの練習でよいでしょう。

しばらくしたら家の人に協力してもらい、どのくらい覚えたか簡単なテストをしてみましょう。その結果を基に、今度は練習の回数を変え、苦手な漢字もしっかりと覚えられるようにしましょう。

数 学

(1)間違えた問題を大切にしよう

できなかった問題は解答・解説を読むだけではできるようにはなりません。時間をおいて必ず自分で解いて確認してみましょう。

(2)一度できたからいつもできるへ

一度解けた問題が、ずっと解けるとは限りません。より確実に解けるように繰り返し練習してみましょう。

(3)学習方法例

- ①様々な種類の問題をたくさん練習したり、時間を決めてできるだけ多くの問題を解く練習をしたりすることでケアレスミスをなくすことができます。
- ②関数は、問題文や式だけでなく、表やグラフを利用しましょう。確率も樹形図や二次元表で、場合を尽くして数えると効果的です。
- ③図形の証明は、図に条件を書き込んだり、補助線を書き入れたりして考えるようにしましょう。証明すべき結論から考えてみることも効果的です。

読 書

- たくさんの本を読んでいる生徒は学力が高い傾向にあります。
- 本を読む楽しさを味わい、読書習慣を身に付けましょう。



よりよい家庭学習習慣を身に付けるためのチェック表

(はい○ もう少し△ いいえ×) → ○の付かないところに注意して改善しましょう。

	チェック項目	チェック欄		
		/	/	/
子どもがチェック	① 宿題がなくても毎日学習している。			
	② テレビや音楽を消して学習している。			
	③ 言われる前に自分から進んで学習を始めている。			
	④ 机やテーブルの上など、学習する場を整頓してから学習を始めている。			
	⑤ 丁寧な字で書いている。			
	⑥ 分からないことをそのままにせず、聞いたり調べたりしている。			
	⑦ 集中して学習している。			
	⑧ 見直しや答え合わせ・まちがい直しなど、学習の振り返りを行っている。			
	⑨ 学習が終わったら、しっかり片付けをしている。			
	⑩ 普段は学習する時間帯をおよそ決めている。			
	⑪ 【小】1日平均「学年×10分」以上学習している。			
	⑪ 【中】1年生は1日平均80分以上、2年生は100分以上、3年生は120分以上学習している。			
	⑫ 【小1～4】同じ教科だけでなく、いろいろな教科の学習をしている。			
	⑫ 【小5～中3】自分に必要な内容を考え、計画的に学習している。			
	⑬ 時間にゆとりのある日に読書をしている。			
⑭ 【小1～小4】8～9時間程度の睡眠をとっている。				
⑭ 【小5～中1】7～8時間程度の睡眠をとっている。				
⑭ 【中2～中3】6～7時間程度の睡眠をとっている。				
⑮ 毎日、朝食を食べている。				
保護者がチェック	⑯ 子どもが学習しやすい環境を整えようとしている。			
	⑰ 子どもがいつまでも、テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話、スマートフォンなどしていないか意識している。			
	⑱ 子どもの学習の様子を定期的に見たり、話題にしたりしている。			
	⑲ 「頑張っているね」「大丈夫だよ」など、子どもをできるだけ褒めたり認めたりする声掛けをするようにしている。			
	⑳ 学校のこと、将来の夢、就きたい職業について話題にした会話がある。			



*この用紙は、新潟市教育委員会学校支援課のホームページにも掲載してあります。プリントアウトして、時々、チェックしてみましょう。

『家庭学習のススメ』掲載URL

<http://www.city.niigata-lg.jp/kosodate/gakko/home/index.html>

